

# 抗議文

在日アメリカ合衆国大使館  
特命全権大使  
ラーム・エマニュエル 閣下

貴国が、ネバダ州の核実験場において、5月14日に臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や深刻化する中東情勢、北朝鮮による核実験再開の兆候など、力による現状変更や平和を破壊する行為に対し、国際社会は紛争のない平和な世界を願っています。そのような中、貴国が核実験などにより核兵器の増強を進めようとしていることは、この願いに逆行し、世界の平和と安全を脅かす行為であり、非核平和宣言都市として到底容認することはできません。

私は吹田市民を代表して、今回の臨界前核実験に対して、強く抗議するとともに、核兵器のない真の恒久平和の世界にするためにも、今後一切の実験を中止するよう強く求めます。

最後に、この抗議文を本国へ伝達いただくよう要請いたします。

2024年5月20日

平和首長会議加盟都市  
日本非核宣言自治体協議会会員  
日本国大阪府吹田市長 後藤 圭二